

全学共通科目

日本語

- 日本語は、外国人留学生及び帰国子女に限り履修することができます。
- 日本語の修得単位数は、学則第15条の3第3項に規定するとおり、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位までを選択科目の単位として卒業要件単位に加えることができます。
- 履修手続き方法は、「履修のてびき」(別冊)を参照して下さい。

科目区分	授業科目	単位数	週時間数				備考
			一年次	二年次	三年次	四年次	
選択科目	基礎日本語(一)	2	F2				履修することができる者は、外国人留学生及び帰国子女に限る
	基礎日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(一)	2	F2				
	初級日本語(二)	2	F2				
	初級日本語(三)	2	L2				
	初級日本語(四)	2	L2				
	中級日本語(一)	2	F2				
	中級日本語(二)	2	F2				
	中級日本語(三)	2	L2				
	中級日本語(四)	2	L2				
	上級日本語(一)	2		F2			
	上級日本語(二)	2		F2			
	上級日本語(三)	2		L2			
	上級日本語(四)	2		L2			

特別活動プログラム

当プログラム設置の目的

学生諸君が取り組んでいるクラブ活動や社会活動など様々な活動を、本学の「個性ある教育」および人格形成や社会性の涵養など人間教育的観点から意義あるものと位置づけ、積極的に評価し、その単位化を計ることを目的とします。また、これらの活動を単位化することにより、学生諸君の取り組み姿勢を明確にするとともにその内容や意欲のより一層の充実を図ることを合わせて目的とします。

対象とする諸活動

活動区分	対象とする具体的活動
(1) クラブ活動 (一) ~ (四)	体連, 文連, 総務, 応援団, 学科統一本部, 同好会
(2) 国際学生交流活動 (一) ~ (四)	学生サミット, 留学生支援, 大学間交流支援など
(3) 環境マネジメント活動 (一) ~ (四)	学内外環境管理活動
(4) ボランティア活動 (一) ~ (四)	地域貢献, 国際貢献, 環境保全, NPO活動, 学習支援活動 (小・中学校・クラブ活動支援), 福祉活動 (高齢者・障害者介護支援) など

単位認定の特色とカリキュラム上の位置づけ

本活動に関する単位認定の特徴は、通常の科目のように教員の教育目標やシラバスに基づき行う講義や実験・実習、その成績評価のシステムではなく、学生自らが主体的に取り組んだ活動について、学生本人が、活動の責任者の承認を受け単位認定を申請するシステムであることです（履修申請は不要、活動の指導者、責任者が一括承認も可とする）。最終的には、学生の申請書類（活動記録等）をもとに単位認定委員会が審査し単位認定を行います。

なお、単位数は1年（あるいは短期集中1活動）を1単位とし、申請は単年度申請とします。同一年度における同一活動区分での複数申請は行えません。修得総単位数のうち、4単位が卒業要件として認められます。また、修得単位数は、学則第15条の3第2項に規定するとおり、他学科・他学部聴講により修得した単位との合計修得単位のうち30単位まで卒業要件単位に加えることができます。また、当プログラムによる修得単位は、年間および学期ごとの履修制限単位数には含みません。

申請書類提出の手順について

履修のてびき・学生ポータルサイトを参照のこと。